

令和5年2月10日

府政運営の基本方針 2023

第1 基本方針

1. 基本的な考え方
2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）
3. 行財政改革

第2 知事重点事業

「府政運営の基本方針」とは

大阪府がめざす将来像の実現に向け、「政策創造（重点的に取り組む分野）」や「行財政改革」などに関し、全庁統一の視点により翌年度において取り組むべき府政の大きな方向性を示すもの。

第1 基本方針

1. 基本的な考え方

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対策を着実に進め、困難を乗り越えるとともに、開催まで2年に迫った2025年の大阪・関西万博のインパクトを最大限に活かし、さらなる大阪の成長・飛躍に向けた土台づくりに果敢に挑戦する年。

コロナ対策は、社会経済活動を継続しながら府民の命を守るため、検査、医療・療養体制を整備するとともに、高齢者施設等の感染対策を行う。国の感染症法上の5類感染症への位置づけ見直しに応じて、With コロナ体制への円滑な移行について、対応を検討していく。

長引くコロナ禍に加え、急激に進む物価高騰により、府民のくらしは大きな打撃を受けている。このため、国交付金を活用し、大きな影響を受けている府民や事業者に対する支援を進める。また、観光産業や文化芸術活動を活性化させ、多様な都市魅力の創出を行う。雇用面では、スキルアップなど求職者支援や職場定着などに取り組み、安定雇用を図る。

こうした取組みとともに、開催まで2年に迫った万博に向け、機運醸成をはじめ、大阪パビリオンやインフラ整備などの準備をあらゆる関係者の力を集約させ、万博の成功に万全を期す。2023年G7大阪・堺貿易大臣会合を安全・安心に開催するとともに、万博の取組みや大阪の魅力を世界に発信するなど、万博成功へ弾みをつける。

万博のインパクトを最大限に活かし、府市一体で大阪の成長に着実につなげるため、「大阪版万博アクションプラン」に基づき、再生医療の産業化や空飛ぶクルマの商用運航の実現、カーボンニュートラルに向けた革新的な技術の創出や府民・事業者の行動変容、スマートシティ化を通じた府民生活の質の向上など、先進的な取組みに挑戦する。あわせて、兵庫県と産業や観光分野で連携しながら、大阪・関西の成長をけん引していく。

さらに、世界中から投資や人材を呼び込む。将来の成長の柱であるIRと国際金融都市OSAKAの実現に向け、取組みを加速させる。また、「大阪のまちづくりグランドデザイン」に基づき、新大阪駅周辺地域をはじめ、大阪全体のまちづくりに府・市町村・民間などが一体となって取り組んでいく。

あわせて、大阪の成長を支える人材づくりを進める。次世代を担う子どもへの英語教育の推進やICTの積極的な活用など、グローバル社会に対応できる人材を育てるとともに、高度人材や外国人材など多様な人材が活躍できる環境整備を進めていく。

こうした取組みによって新たなイノベーションを巻き起こすとともに、SDGs の実現で世界に貢献する国際都市大阪をめざす。

一方、自殺や課題を抱える女性の増加、ヤングケアラーをはじめ、社会からの孤独・孤立により生じる問題が顕在化し、社会問題となっている。このため包括的な対策を進めるとともに、児童虐待へのきめ細やかな対応やギャンブル等依存症対策など切れ目のない支援を図る。加えて、風水害などの自然災害は、全国各地に大きな被害をもたらしており、引き続き防災・減災対策を進める。

こうした政策の実現には、財政基盤の健全化が重要である。過去に減債基金から借り入れた 5,202 億円の積立不足額については、復元を 1 年前倒して、令和 5 年度末に完了する見込みであり、引き続き、健全で規律ある財政運営を行っていく。

住民に身近な市町村が、将来にわたり持続的かつ安定的に住民サービスを提供できるよう、新たな市町村間連携やさらなる行財政改革の促進などを通じて、基礎自治機能の充実・強化に取り組んでいく。

また、バージョンアップする「副首都ビジョン」を指針として、府と市がより一層連携し、経済面、バックアップ面、行政・政治面の取組みを進め、オール大阪で副首都・大阪を実現していく。

施策の推進にあたっては、市町村・企業・NPO などと引き続き連携するとともに、積極的にサポートを行うなど、全ての関係者の力を結集し、取組みを進めていく。

2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）

令和5年度は、基本的な考え方に基づき、「感染症への対応」、「くらしを支えるセーフティネットの充実」、「大阪経済の回復」、「万博成功に向けた取組みの加速」、「万博をインパクトにした新たな価値の創造・未来への投資」を推進し、日本の成長をけん引する「副首都・大阪」の実現をめざす。

以上、5つの柱立てで、次の重点的に取り組む分野を設定し、全庁一丸となって政策創造を図る。

なお、今後の感染拡大や経済の状況などに応じて、必要な対策を機動的に講じていく。

感染症対策と府民のくらしを守る取組み

（1）感染症への対応

- 検査、医療・療養体制の確保
- 感染拡大防止の取組みの徹底

（2）くらしを支えるセーフティネットの充実

- 府民の生活や健康を支える取組みの充実
- 子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の充実
- 自然災害の教訓を踏まえた災害対応力強化

万博のインパクトを最大限に活かした成長への取組み

（3）大阪経済の回復

- 物価高騰に対応した取組みの推進
- 雇用を支える取組みの推進
- 国内外から人を呼び込む都市魅力の創出

（4）万博成功に向けた取組みの加速

- 万博成功に向けた準備の加速

（5）万博をインパクトにした新たな価値の創造・未来への投資

- ライフサイエンスやカーボンニュートラルなど成長をけん引する産業の創出、イノベーションの促進
- スマートシティ化による府民生活の質の向上に向けた取組みの加速
- IR 開業や国際金融都市の実現に向けた取組みの推進
- 大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの推進
- 大阪の成長を支える人材づくりの推進

3. 行財政改革

財政規律を堅持しつつ、府民・企業・市町村・国との連携を深め、社会全体で課題解決する「起点」としての役割を果たすなど、「組み換え（シフト）」と「強みを束ねる」を改革の視点として、「令和 5 年度大阪府行政経営の取組み」に基づき、自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立を図る。

(1) 健全で規律ある財政運営の実現

◇令和 5 年度当初予算編成の基本的な考え方

コロナや物価高騰対策を着実に進めるとともに、万博のインパクトを最大限に活かし、大阪の成長・飛躍に向けた施策に限られた財源の重点配分を行う。

引き続き、財政運営基本条例に基づき、将来世代に負担を先送りしないことを基本に、財政規律、計画性及び透明性の確保に取り組み、健全で規律ある財政運営を行っていく。

◇厳しい財政状況への対応

令和 5 年 2 月の「財政状況に関する中長期試算 [粗い試算]」では、令和 5 年度末に減債基金の積立不足の復元が完了する見込みであるものの、バブル後に大量発行した府債の最終償還の到来などがあり、今後も多額の収支不足額が続くと見込まれる。また、海外経済や原材料価格等の動向が景気に及ぼす影響が懸念されるなど、依然として予断を許さない状況であることから、令和 5 年度当初予算に計上する財政調整基金の取崩しについては、年度を通じた効果的・効率的な予算執行により、その縮減に努める。

(2) 組織運営体制

◇自律的な改革を支える体制の構築

新たな課題に的確に対応し、最大のパフォーマンスを発揮することができるよう、求める人材を適切に確保するとともに、職員が働きやすい環境づくりを進め、女性職員を幅広い分野へ積極的に任用する。

また、令和5年度からの定年年齢の段階的な引き上げによる高齢期の職員の活用を見据えつつ、再任用職員の短時間・フルタイム勤務の運用等、府庁の様々な人材を最大限活用することにより、必要な組織人員体制を整え、自律的な改革を進める。

◇働き方改革の実現

大阪府庁版「働き方改革」を踏まえ、フレックスタイム制度の活用など柔軟な働き方の浸透を図るとともに、長時間労働の是正や育児休業等の取得促進などに一層取り組み、働く職員の心身の健康確保・ワークライフバランス・女性活躍の促進等を図る。

◇令和5年度の組織体制と人員編成

府政の重要課題に適切に対応するとともに、効率的かつ効果的な行政運営を図るため、必要な組織体制の整備を行う。

人員編成については、事務事業の見直しや事務の効率化等による組織のスリム化に努めつつ、万博に向けた取組みなど緊急かつ重要な行政需要に適切に対応していくことができるよう重点的に人員を配置する。なお、コロナ対策においては、感染症法上の5類感染症への位置づけ見直しも踏まえ、必要な体制を確保していく。

第2 知事重点事業

「第1 基本方針」に基づき、以下のとおり知事重点事業を進める。

「新規」：令和5年度から新規又は拡充して取り組む事業
(前年度からの継続事業のうち、施策の再構築等により新たな段階に移行する継続事業を含む。)

「継続」：前年度から継続して取り組む事業

以下の表中、太字は「新規」の知事重点事業をさす。

感染症対策と府民の暮らしを守る取組み

(1) 感染症への対応

コロナから府民の命と健康を守るため、引き続き、相談体制の整備やワクチン接種の促進を図るとともに、入院・療養体制の確保に取り組む。また、福祉施設における感染防止策の推進など、重症化リスクの高い府民への支援を行う。

加えて、5 類感染症への位置づけ見直しに向けては、国の方針等を踏まえ、円滑な移行が図れるよう必要な対応を検討していく。

○ 検査、医療・療養体制の確保

- ・相談・検査体制の整備等
- ・入院・療養体制の確保

○ 感染拡大防止の取組みの徹底

- ・福祉施設における感染防止策の推進
- ・大阪公立大学感染症研究の推進

(2) 暮らしを支えるセーフティネットの充実

インターネット上の人権侵害を解消するための専門相談窓口の設置やギャンブル等依存症に対する普及啓発、相談・治療・回復支援体制の強化などに取り組む。

子どもたちの健やかな成長に向け、児童虐待への対応やヤングケアラーへの支援を強化する。また、生徒の多様なニーズに対応した教育環境の整備や不登校の児童・生徒への支援など学びを支える環境の充実を図るとともに、複数校による部活動の合同実施を促進する「部活動大阪モデル」の導入など持続可能なスポーツ環境の構築と学校の働き方改革の両立を進める。

あわせて、地震・津波の被害想定の見直しや盛土規制の区域指定に向け取り組むとともに、引き続き災害対応力の強化に取り組む。

○ 府民の生活や健康を支える取組みの充実

- ・インターネット上の人権侵害事象への対応
- ・ギャンブル等依存症対策の強化
- ・孤独・孤立等福祉課題への対応
- ・自殺対策の強化（若年者層向け SNS 相談等）
- ・女性のための相談・支援
- ・NPO 等社会課題解決活動への支援
- ・ウクライナ避難民受入環境の整備
- ・総合的な感染症対策の充実・強化（新型インフルエンザ対策、風疹対策等）
- ・市町村国保への予防・健康づくり支援の強化
- ・受動喫煙防止対策の推進
- ・がん・肝炎対策
- ・障がい者雇用に向けた企業の取組促進
- ・居住安定確保の促進（住宅確保要配慮者に対する支援体制の構築）

○ 子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の充実

- ・児童虐待対応の拡充・強化（新たな一時保護所の設置等）
- ・子どもの貧困対策
- ・里親委託の推進
- ・ヤングケアラーへの支援体制の強化（モデル事業への助成等）
- ・医療的ケア児支援センターの設置
- ・弱視児・難聴児早期発見・療育の推進（屈折検査導入支援等）
- ・多様な教育実践校の整備
- ・知的障がい支援学校の新校整備
- ・不登校対策等への支援
- ・SNSによる子どもの相談体制整備
- ・スクールカウンセラーの配置
- ・「生きた」英語プロジェクト
- ・大阪公立大学等授業料の支援
- ・私立高等学校等生徒授業料の支援
- ・部活動の改革

○ 自然災害の教訓を踏まえた災害対応力強化

- ・**地震・津波の被害想定の見直し**
- ・防潮堤液状化対策（津波・高潮対策）
- ・三大水門の更新
- ・密集市街地対策の促進
- ・建築物震災対策の推進
- ・**盛土規制の区域指定に向けた取組み**
- ・避難行動の支援（土砂災害・水害）
- ・森林防災・減災対策
- ・ため池防災・減災対策の強化

万博のインパクトを最大限に活かした成長への取組み

（３）大阪経済の回復

長引くコロナ禍に加え、物価高騰により厳しい状況が続くなか、打撃を受けている事業者に対し、資金繰りの下支えや LED 照明器具の導入による経営力の強化を図る。また、新たな事業にチャレンジする事業者への伴走支援を行う。

雇用面では、企業とのマッチングや人材育成など総合的に支援する。

あわせて、国内外から人を呼び込むため、兵庫県と連携した観光プロモーション活動や周遊促進、水上交通ネットワークの構築をはじめ、商店街の活性化、文化・芸術・スポーツなど様々な分野で大阪の魅力を創出する。

○ 物価高騰に対応した取組みの推進

- ・中小企業向け制度融資
- ・LED 導入支援
- ・**車両低燃費化の支援（EVトラック、低燃費タイヤの導入支援等）**
- ・中小企業の新事業展開支援
- ・子ども食堂における食の支援

○ 雇用を支える取組みの推進

- ・就職・職場定着への支援
- ・DX 人材の活躍推進

○ 国内外から人を呼び込む都市魅力の創出

- ・インバウンドの回復をめざした国内外への魅力発信
- ・広域周遊・集客の促進
- ・水辺の魅力景観づくり、舟運の活性化
- ・商店街魅力向上支援
- ・文化芸術の創出・回復発展に向けた支援
- ・スポーツツーリズムの推進
- ・国際会議の誘致・開催促進

(4) 万博成功に向けた取組みの加速

開催まで2年と迫った万博を成功させるために、国内外や若年層に向けた情報発信やイベントの開催など一層の機運醸成や参加促進を図っていく。また、大阪パビリオンにおける再生医療に関する展示やインフラ整備などの準備を関係者と連携し推進する。世界中から訪れる全ての来場者のスムーズなアクセスを実現するため、ユニバーサルデザインタクシーの普及促進や MaaS の促進など受入環境の整備を行う。さらに、万博開催都市としてSDGsに貢献するため、環境配慮型バスの普及促進やプラスチックごみ対策などに取り組む。

加えて、2023年G7大阪・堺貿易大臣会合を安全・安心に開催するとともに、地元歓迎レセプションなどを通じて大阪の魅力をPRし、万博成功への弾みとする。

○ 万博成功に向けた準備の加速

- ・万博成功に向けた機運醸成イベント
- ・インバウンドの回復をめざした国内外への魅力発信【再掲】
- ・広域周遊・集客の促進【再掲】
- ・水辺の魅力景観づくり、舟運の活性化（中之島GATEの整備、海上交通社会実験、淀川大堰閘門設置等）【再掲】
- ・文化芸術の創出・回復発展に向けた支援【再掲】
- ・スポーツツーリズムの推進【再掲】
- ・大阪産(もん)の活用拡大支援
- ・国際会議の誘致・開催促進【再掲】
- ・いのち輝く未来社会をめざすビジョンの推進（10歳若返りプロジェクトの推進等）
- ・万博への参加促進
- ・2025年大阪・関西万博開催への準備
- ・再生医療等の情報発信

- ・ユニバーサルデザインタクシーの普及促進
- ・交通インフラの整備（鉄道駅のバリアフリー化、公共交通 MaaS 促進等）
- ・SDGs の推進
- ・**脱炭素モビリティの普及（環境配慮型バス、EVトラック）**
- ・プラスチックごみ対策の推進
- ・**2023年G7大阪・堺貿易大臣会合の開催**

（５）万博をインパクトにした新たな価値の創造・未来への投資

大阪の更なる飛躍に向け、万博のインパクトを最大限に活かして、未来社会の実現をめざす。再生医療のポテンシャルを広く発信するとともに、実証事業受入れ促進など健康・医療関連産業のリーディング産業化を進める。空飛ぶクルマの実現に向けた取り組みやカーボンニュートラルに資する革新的な技術開発の支援、将来の大阪経済の基幹を担うスタートアップへの支援など新たな価値の創造に取り組む。

加えて、府民生活の質の向上のため、府民一人ひとりへ最適な情報発信等を行うポータル機能の構築など DX の更なる推進やスマートシティ化を図る。

また、世界中から投資や人材を呼び込むため、IR 開業に向けた準備や、国際金融都市 OSAKA の実現に向けて大阪の投資魅力等のプロモーションを行うとともに、海外投資家と在阪スタートアップ企業とのマッチング等の伴走支援を行う。

さらに、「大阪のまちづくりランドデザイン」のもと、新大阪駅周辺地域や大阪城東部地区などの拠点開発をはじめとした大阪全体のまちづくりを、民間の活力を最大限引き出しながら、市町村など多様な主体と一体となって推進する。

あわせて、英語教育の充実などグローバル社会に対応できる人材を育てる。また、外国人材の受入促進・共生の推進など多様な人材が活躍できる環境整備に取り組み、大阪の成長を支える人材づくりを進めていく。

- ライフサイエンスやカーボンニュートラルなど成長をけん引する産業の創出、イノベーションの促進

- ・健康・医療関連産業のリーディング産業化（ライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築推進、北大阪健康医療都市形成の推進等）
- ・空飛ぶクルマの実用化（離着陸場等の拠点整備促進等）
- ・カーボンニュートラルの実現（技術開発支援、サプライチェーン全体の CO2 排出量見える化等）
- ・大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現（バイオプラスチックビジネスの推進等）
- ・健康づくり支援プラットフォームの整備（健康アプリ「アスマイル」の推進）
- ・スタートアップ・エコシステムの構築（ディープテック分野への支援、グローバル展開への支援等）
- ・中小企業のDX支援
- ・農業の担い手創出・経営力の強化
- ・大阪公立大学「イノベーション・アカデミー構想」の推進
- ・成長戦略の推進

- スマートシティ化による府民生活の質の向上に向けた取組みの加速

- ・デジタルサービスの早期実装による住民の利便性向上（大阪 My ポータル（仮称）、療育手帳・府立学校入学者選抜等のデジタル化等）
- ・大阪のデジタル改革の推進（市町村DX支援、行政DX推進等）
- ・大阪広域データ連携基盤の運用・活用促進
- ・スマートシニアライフ
- ・スーパーシティの推進
- ・スマートモビリティの推進（公共交通 MaaS 促進、AI オンデマンド交通先行モデル構築）

- IR 開業や国際金融都市の実現に向けた取組みの推進

- ・IR事業化の推進
- ・国際金融都市の推進

- 大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの推進

- ・ランドデザインの推進（新大阪駅周辺・大阪城東部・夢洲・うめきたのまちづくり等）
- ・万博記念公園駅前周辺地区の活性化

- ・道路・鉄道・海上ネットワークの整備（淀川左岸線 2 期・延伸部・なにわ筋線・大阪モノレール延伸）
- ・港湾の国際競争力強化
- ・新大学学舎の整備

○ 大阪の成長を支える人材づくりの推進

- ・**「生きた」英語プロジェクト【再掲】**
- ・**外国人材の受入促進・共生推進**
- ・就職・職場定着への支援【再掲】
- ・DX 人材の活躍推進【再掲】
- ・**成長人材の育成**
- ・大阪公立大学等授業料の支援【再掲】
- ・私立高等学校等生徒授業料の支援【再掲】